

クミアイ スピノエース™ 顆粒水和剤

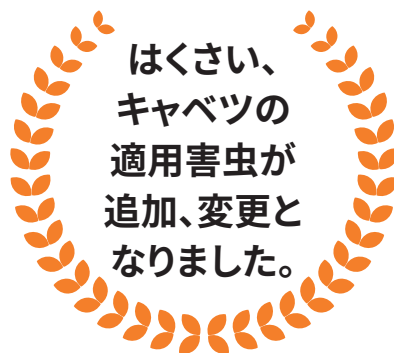
園芸用殺虫剤

- 多彩な作物の多くの害虫に適用
- アザミウマ類、チョウ目害虫に優れた効果
- 有機農産物に使える

栽培形態と使える農薬

※1 慣行栽培と比較して削減対象農薬の使用回数が50%以下

	有機JAS規格別表2の農薬 マシン油剤、銅水和剤、生石灰、性フェロモン剤、天敵など生物農薬、 スピノサド水和剤、他(一部化学合成農薬を含む)
慣行栽培	○ 使用可
特別栽培※1	○ 使用回数にカウントされない
有機栽培	○ 農作物の被害が予想される場合に使用可



微生物が生み出した奇跡。
天然物由来の殺虫パワー。

スピノエース™顆粒水和剤の適用害虫と使用方法

・使用方法:散布

・散布流量:10アールあたり100~300ℓ(いちじく、マンゴー、ラズベリー、樹木類は200~700ℓ)

*収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
キャベツ	タマナギンウワバ、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ	2,500~5,000	3日	本剤 3回※1
	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	5,000		
はくさい	コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、タマナギンウワバ	2,500~5,000	3日	本剤 3回※1
	ヨトウムシ、カブラハバチ類	5,000		
ブロッコリー	コナガ、アオムシ	2,500~5,000	7日	3回
だいこん	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	5,000	14日	2回
はつかだいこん	ハモグリバエ類	2,500	3日	3回
セルリー	ハモグリバエ類	5,000	前日	2回
にんじん	ハモグリバエ類	5,000		
かぶ	ハモグリバエ類	5,000	3日	2回
実えんどう 食用へちま	ハモグリバエ類	5,000		
カリフラワー	コナガ	5,000	3日	3回
クレソン	コナガ	5,000	3日	2回
みつば	ハスモンヨトウ	5,000	※2	2回
メキャベツ	ハスモンヨトウ	5,000	7日	3回
ふだんそう	ハスモンヨトウ	4,000	3日	2回
非結球メキャベツ	ヨトウムシ	5,000	14日	3回
パセリ	ヨトウムシ	2,500	14日	2回
みずな	ヨトウムシ	5,000	3日	1回
非結球はくさい#	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	5,000	3日	1回
非結球 あぶらな科 葉菜類# (みずな、非結球はくさいを除く)	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	2,500~5,000	14日	2回
レタス	オオタバコガ	5,000	3日	本剤 3回※3
	ヨトウムシ	5,000	3日	本剤 3回※3
非結球レタス#	ハモグリバエ類	灌注500~1,000 (使用流量:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3ℓ)当り500mℓ)	定植前まで	本剤 1回※3
	オオタバコガ	2,500~5,000	7日	本剤 1回※4
ねぎ、わけぎ、あざつき	アザミウマ類	5,000	3日	3回
	シロイチモジヨトウ	5,000		
ほうれんそう	アザミウマ類、シロオビノメイガ、アシゲロハモグリバエ	5,000	前日	2回
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類	5,000		
なす	アザミウマ類	2,500~5,000	前日	2回
	オオタバコガ	5,000		
ピーマン	アザミウマ類	2,500~5,000	前日	2回
すいか	アザミウマ類	2,500~5,000		
メロン	ハモグリバエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	5,000	7日	3回
きゅうり	ハモグリバエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	5,000		
きゅうり(葉)	アザミウマ類	10,000	14日	3回
きゅうり(花)	アザミウマ類	10,000		
ズッキーニ	アザミウマ類	5,000~10,000	前日	2回
ズッキーニ(花)	アザミウマ類	5,000~10,000		
ししとう	アザミウマ類	20,000	前日	2回
甘長とうがらし	アザミウマ類	20,000		
アスパラガス	アザミウマ類	5,000	前日	2回
いちご	アザミウマ類	5,000		
エンサイ	アザミウマ類	5,000	前日	2回
すいぜんじなせり	アザミウマ類	5,000		
とうがん	アザミウマ類	5,000	前日	2回
未成熟さげ	アザミウマ類	5,000		
未成熟ふじまめ	アザミウマ類	5,000	前日	2回
アザミウマ類	アザミウマ類	5,000		

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
さやえんどう	ハモグリバエ類	5,000	前日	3回
さやいんげん	ハモグリバエ類			1回
いちじく	アザミウマ類	5,000	3日	2回
マンゴー	アザミウマ類			2回
みょうが(花穂)	アザミウマ類	5,000	前日	2回
みょうが(莖葉)	アザミウマ類			2回
よもぎ	アザミウマ類	5,000	3日	1回
ラズベリー	アザミウマ類			2回
モロヘイヤ	アザミウマ類	2,500	3日	2回
つるな	アザミウマ類			2回
らっきょう	アザミウマ類	5,000	前日	2回
にんにく	アザミウマ類			2回
いら	アザミウマ類	10,000	前日	3回
いら(花莖)	アザミウマ類			3回
しよくようほおずき	アザミウマ類	10,000	3日	2回
食用ミニバラ	アザミウマ類			2回
しそ科葉菜類#	アザミウマ類	10,000	3日	2回
しそ(花穂)	アザミウマ類			2回
食用花# (かんそう(花)、食用ぎく、食用ミニバラを除く)	アザミウマ類	10,000	3日	2回
食用ぎく	アザミウマ類			2回
食用ぎく(葉)	アザミウマ類	5,000	発生初期	2回
きく(葉)	アザミウマ類			2回
きく	アザミウマ類、アザミウマ類、オオタバコガ	2,500~5,000	14日	3回
グアバ(葉)	アザミウマ類			3回
さんしょう(葉)	アゲハ	10,000	3日	2回
花き類・観葉植物(きくを除く)#	アザミウマ類	5,000	発生初期	2回
樹木類#	アザミウマ類			2回

※1.キャベツ はくさい ブロッコリー 本剤の使用回数:3回以内 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)

※2.みつば 収穫7日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで 本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)

※3.レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)

※4.非結球レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は2回以内、灌注での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圃では2回以内)

※5.みょうが(花穂) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に 飛散しない状態で使用

※6.みょうが(莖葉) みょうが(花穂)の収穫前日まで、但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで

#印の登録には複数の作物名が含まれます。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください。

ミツバチに対する影響

ミツバチは2日後(5,000倍)から7日後(2,500倍)、マルハナバチは3日後(5,000倍)から8日後(2,500倍)に導入できます。

ローテーション防除推奨

同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテーション(輪番)で使用することを推奨します。

効果・薬害等の注意(抜粋)

●適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意(抜粋)

●蜜に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ・ミツバチの巣箱及びその周辺にからさないようにしてください。
- ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園では、使用をさけてください。
- ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2022年11月現在の知見に基づき、作成されています。